

※新潟駅万代広場と白山駅前広場の整備は新潟駅周辺整備事業の一環で実施。

新潟駅万代広場

新潟駅万代広場部分整備

新潟駅の乗り換え拠点としての機能強化に向けて段階的に整備。

歩道を広げにぎわい空間を創出しながら、BRT乗降場とあわせて柳やガス灯を配置し、新潟らしさを表現している。

将来のすがた

平成34年度には、新潟駅高架下交通広場の供用により、路線バス及び新たな交通システムの南北一体化が可能となる。

平成35年度頃には、新潟駅万代広場の供用を予定している。広場は柳、堀、ガス灯等の「新潟らしさ」の表現とともに、防風壁設置や昇降設備設置により利用者の快適性、利便性を向上させる。



■新潟駅万代広場部分整備

■新潟駅万代広場の整備概要(完成イメージ)
※整備イメージは、今後の検討・協議により変更の可能性がある

白山駅前広場

白山駅前広場の整備を行い、鉄道とバスの乗り換えの利便性が向上した。

また、自由通路が完成し、新潟県立がんセンターなどがある南口からも直接駅を利用できるようになり、駅を利用しない方も迂回することなく南北の行き来ができるようになっている。

広場の基本イメージは、賑わいを演出する『明るい暖色系』で統一。屋根(シェルター)は光を通す膜構造で色は「白」とし、新たに照明も整備した。

ロータリーでは、乗降場と待機場を整備している。

歩道空間については、歩道を広げバリアフリー対応とし、防風壁を設置するなど快適性を向上させた。



■白山駅前広場



■白山駅前広場概要

情報案内システム

BRT運行開始により新たに生まれた乗り換え行動をサポートするために、様々なポイントでBRTの運行状況に関する情報や、BRTと路線バス等の乗り換えに関する情報を提供することで、乗り換えの負担を低減し、安心感をもって移動できるようにしている。

▶パソコンやスマートフォン等により、出発地から目的地までの最適なルート検索が可能。バスの位置情報も確認可能。

▶BRT車内ではモニターを設置し、次の停車駅と接続して乗り換え可能なバス・鉄道を案内。

▶交通結節点ではバスの発車時刻と乗り換え先での接続が分かる総合案内板や、乗り場ごとにバス接近情報を表示する情報案内板を設置。

▶BRT駅のうち設置可能な箇所では、接近情報の案内を、それぞれの駅の形態にあわせて設置。



■スマートフォン画面

■パソコン画面



■車内モニター



■情報案内板(新潟駅前)



■総合案内板



■情報案内板(東中通)



■情報案内板(古町)

案内サイン

交通結節点などBRTと路線バスの乗り継ぎが発生する箇所では、上屋の屋根下や壁面、路面などに案内サインを設置し、乗り換えをサポートしている。



■案内サイン(路面、壁面、吊下げ)

